



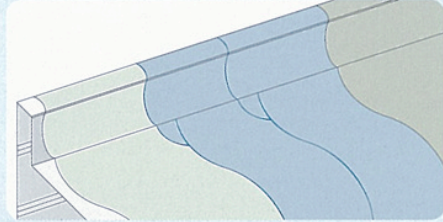
あてはまるものに
チェックしてください。

Check 4

現状が『塗膜防水面』の場合



既存ウレタン塗膜防水のイメージ



Q1 防水改修を行わず、10年以上経っている。

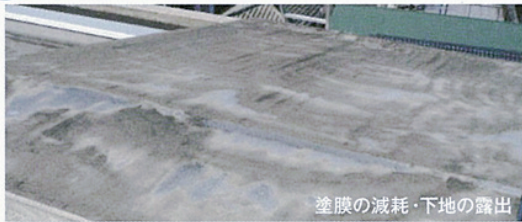
Q2 現在雨漏りが発生している。

Q3 全体的に白っぽく、粉をふいている。



塗膜の減耗・チョーキング

Q4 防水層が削れて下地が出てしまっている。



塗膜の減耗・下地の露出

Q5 下地にひび割れが発生し、塗膜も一緒に切れている。



塗膜防水の破断

Q6 塗膜の一部がふくれている。



塗膜防水のふくれ

Q7 外周の腰壁面（立上り面）の上面（笠木面）にひび割れが見られる。



笠木部のひび割れ

Q8 防水層の一部で破れている箇所がある。



塗膜防水の損傷

あなたの建物の防水層は
大丈夫でしょうか。
もしこのチェックで不具合箇所に
不安がある場合は、
防水の専門家による
調査・診断をご依頼ください。

判定

- ◆ チェックが1～2項目……点検・清掃をしながら、経過を観察しましょう。
- ◆ チェックが3～4項目……要注意です。専門家に防水診断を依頼しましょう。
- ◆ チェックが5項目以上……防水改修の必要性が高いと思われます。改修計画の立案を検討しましょう。

防水用語
一口メモ

※チョーキングとは：塗膜防水の表面が紫外線・熱・水分・風等により劣化し、塗膜の色成分の顔料がチョーク（白星）のような粉状になって削れる現象。